



帯広東ロータリー・クラブ会報

[2020-2021年度]

会長/池田 誠 幹事/大塚 正昭 会報編集 メディア委員長/山口 信博

■創立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例会日：毎週火曜日 12:30~13:30

■事務局：〒080-0013 北海道帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4 F Tel.(0155)25-7347 ■例会場所：ホテル日航ノースランド帯広 Tel.(0155)24-1234

第1704回例会 (令和2年8月25日) 於 ホテル日航ノースランド帯広

起 立 加藤 武志 SAA
開会宣言(帯広東RC第1704回例会)
加藤 武志 SAA

ロータリーソング

我等の生業



◎ペナンの交換

松田 英郎 ガバナー
池田 誠 会長



ゲスト紹介

池田 誠 会長

R I 第2500地区ガバナー 松田 英郎 様
R I 第2500地区第6分区ガバナー補佐 柴田 博美 様
R I 第2500地区副幹事 小林 裕幸 様
R I 第2500地区 VTT 小委員会委員 田中 恵造 様
第6分区ガバナー補佐セクレタリー 佐伯 大輔 様



会務報告

大塚 正昭 幹事

- ①帯広西RC、夜間例会開催のご案内
日時 令和2年8月27日(木) 午後6時30分
場所 北海道ホテル
- ②帯広南RC、8月31日(月)は休会と致します。
- ③帯 広RC、家族野遊会開催のご案内
日時 令和2年9月6日(日) 午前10時
場所 十勝さらべつ熱中小学校
※尚、9月9日(水)の繰上げ例会と致します。



会長挨拶

池田 誠 会長



皆様、こんにちは。

今日は、R I 第2500地区ガバナー 松田英郎様、R I 第2500地区第6分区ガバナー補佐 柴田博美様、R I 第2500地区副幹事 小林裕幸様、R I 第2500地区 V T T 小委員会委員 田中恵造様、第6分区ガバナー補佐セクレタリー 佐伯大輔様におかれましては、何かとお忙しいところお越しいただきありがとうございます。

さて、先日開催予定でした家族野遊会ですが、会員や家族の皆様が大変楽しみにされていたことと思いますが、このコロナ禍で開催予定地でした池田ワイン城の受け入れ態勢が整っていなかったこと、そしてお盆休みで十勝管外からの人の往来があったことを踏まえ大変残念ではありましたが、中止とさせていただきます。まだまだコロナウイルス感染が終息をみない中、今後も例会事業の変更や中止があるかもしれませんが、よろしく願いいたします。

さて、新型コロナウイルスの影響により富良野で開催予定でした P E T S や地区研修・協議会が Z O O M を使ったオンライン会議になり、各種会議や行事の中止、そして10月開催予定でした地区大会も年度内の開催を見送り来年の開催予定に変更されるなど、松田ガバナーにおかれましては地区の運営について大変ご苦労されていることと思います。

そして、本日のガバナー公式訪問も R I からはオンライン会議を用いてのクラブ訪問を奨励されていますが、今日こうして松田ガバナーをお迎えしての例会が出来る事大変うれしく思っております。

私が、松田ガバナーを直接お見かけしたのが、昨年11月のRC財団補助金管理セミナーの時以来で、今日の公式訪問がなければ松田ガバナーと直接お話をする機会がなかったかもしれません。ガバナーよりお電話をいただき、お話させていただいておりますが・・・

地区大会が富良野の地で開催できることを願って、今自分たちに出来ることを模索し実行していければと思います。

この後、松田ガバナーの講話、そして柴田第6分区ガバナー補佐よりお話をいただくことになっておりますのでよろしく願いいたします。

以上、会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

委員会報告

- ・報告
加藤 武志 SAA 松田 英郎 ガバナーより(志を頂く)

プログラム

理事会

R I 第2500地区ガバナー 松田 英郎 様

まずは、ガバナーエレクト研修会、国際協議会に皆様の人頭分担当の一部を使わせて頂いた事にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

思い起こせば、一昨年7月に東京でガバナー会に参加し、11月神戸でのロータリー研究会でガバナーノミニー研修会があり、ガバナーへの道が始まりました。会合ごとに多くの方々との出会い、ロータリーの勉強があり、まだまだ不十分ですが、少しずつロータリアンに近づいた気がします。

私は昭和30年生まれ未年生まれです。生まれたところは旭川です。私の履歴ですが、父親の仕事の関係で幌加内町、紋別市、小学生の1年から3年まで雄武町で暮らしました。その後、旭川市で10年間の学生生活を送り、大学卒業後旭川医大に研修医で戻りました。北大、札幌厚生病院に勤務し、旭川に戻ってから道東の病院を中心に出張していました。縁あって、富良野での開業の話があり、平成3年(1991年)10月に開業し現在に至っております。ロータリー歴は、開業の時に大変お世話になった方のスポンサーで1993年に入会させて頂きました。

還暦を過ぎて、このままの生活を続けていってどんどん肉体的にも衰え、仕事をこなすのも時間がかかるようになり、あわただしく人生を過ぎて終わるのかなあ。と感じていました。

それじゃ淋しすぎると思い、趣味も特技もないので、ロータリーで居場所を見つけたいと富良野クラブのメンバーにガバナーを目指したいとお話しさせて頂きました。

クラブの皆様のお許しをいただいてからの、ロータリーの会合は楽しいことばかりで、元気に活躍されているロータリアンに巡り会う事の喜びは実に目から鱗の、貴重な経験でした。

現在、世界のロータリアンの数は約117万5,000人です。



昨年から1万4,000人ほど減少しています。世界の地区とクラブ数は36,170です。インドで増え、アジアは北米を上回りました。

世界の国、地域は200以上で、世界に525地区あります。

日本にはそのうち34地区があり、クラブ数は2,238クラブです。

日本の会員数は85,487名で、私が入会した1993年には約12万人の会員がおりました。この1年でマイナス2,400人ほど減少しました。

2500地区のクラブ数は67クラブ、2,208名の会員です。こちらも少しずつ減ってきています。昨年に比べて46名減少です。今までのR I会長は、会員増強を強調しておりました。前会長のマローニーさんも穴の空いたバケツに水を入れると言った表現で、退会防止を強調されました。

数あるボランティア団体の中でロータリーをなぜ選んだのか？

先輩に勧められた。友人に勧められた。親がロータリアンであったから。元請け、業界の関係で入会せざるを得なかった。立派なロータリアンの活動に感動して入会したかったから。自分商売にメリットがあると思ったから。前任からの引き継ぎで、何となく。色々な理由があると思いますが、私にとっては理由はそれほど問題はないと思います。入り口はどの入り口でもいいと思います。入ってから興味を持ってほしいと思いますし、会員のモチベーションの温度差はあってほしいと思います。

奉仕の精神を持つ、ロータリアンになる事に意味があると思います。

目的は意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。とあります。私たちロータリアンは、それに加えて、基本理念、「四つのテスト」「5大奉仕部門」に従って行動してきました。ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。

それらの、基本的理念だけでなく、ロータリーにはロータリー財団という組織があります。そして、ロータリー財団は寄付を受け付け、資金を配分し、ロータリーの使命を果たすために、共に活動しています。

ロータリー財団は非営利団体の格付け機関であるチャリティーナビゲーターの格付けで11年連続の最高評価を受けており、信頼できる組織です。実に我々の寄付金の91%がプログラムに活用されています。

ちなみに、日本ユニセフは寄付の81%をアメリカ本部に送られています。財団が極めて効率よく運営されているかが理解できます。

我々は誇りを持って、「ロータリアンだと自慢できる立場にある」という事です。I'm a proud member. なのです。

わざわざ会費を払って奉仕活動をする団体に、なぜ入ろうと誘うか？仲間を増やしたいから。いいことがあるから、会員増強委員会になったから仕方なく。などあると思います。

入会して、どんなメリットがあるの？と言われるかも知れません。

ロータリーが与えてくれるものはたくさんあります。

まずは、かけがえのない人との出会い、友情、リーダーシップ、職業人としての成長、個人としての成長、世界に触れる機会とのめぐり合い、地域社会とのつながり、倫理原則、家族向けの機会、人前で話す能力、地区での活躍の機会があります。このように多くの、無形ですが、いずれも「何物にも代えがたい」見返りです。強調してみましょう。

これらの、なぜの答えを丁寧に示してあげれば、入会へのきっかけとならないでしょうか？

きっと、今、気づいていないですが、隣にロータリアンの候補者がいるはずです。

私は、入会から、ほぼ富良野クラブの活動にだけに参加し、地区大会、IM、周年行事、世界大会にも決して多く参加したわけ無く、デュリティであった時に面倒と感じながら、いやいや参加していました。

財団、米山奨学会、青少年交換など、地区の活動も分からず、2,300人の地区の仲間の活躍も知りませんでした。地区活動情報を知り合えるチャンスはありましたが、自分から避けてしまっていました。今から考えるともったいないことです。皆さんもちょっと背伸びして、景色の違いを感じてみましょう。参加は面倒だと思っても、思い切って色々な会合に参加してみましょう。素晴らしい出逢いに感謝するはずです。

今すぐ、世の中の仕組みをすぐに変えることはできないので、慎重にクラブ活動を行う必要があります。数年後収まるとは思いますが見通しがつかない事ばかりで、現状、どうやって対応していいか、手探りといってもいいと思います。世界のグローバル化に警鐘を鳴らしているのかも知れません。そして、お隣の国を冷静にみるきっかけになったかも知れません。これから「ニューノーマル」との表現ですが、明らかにアブノーマルに生活しなければなりません。

さて、国際ロータリーは何を目指しているのでしょうか？

R Iの戦略計画は2024年までの5年間で中核的価値観、ビジョン声明、行動計画を示し、ロータリアンに発信しています。

ご承知の通り今年度のホルガークナークR I会長は「ロータリーは機会の扉を開く」とテーマに掲げました。

地区チーム研修、P E T S、地区研修・協議会でビデオをご覧になり、皆様の活動計画にも掲載されているものと思います。

彼は多くのメッセージを発信していますが、今までのR I会長のテーマとこの10年のR I理事会の決定を重ね合わせますと方向性が見えるようです。

R I決定事項ですが、10年前、2010年の中核的価値観(奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ)が発表されています。

今までの流れを理解して頂き、地域社会のリーダーと共に、我々の仲間を拡大し、奉仕活動資金を増大することによって、「我々ロータリアンが地域社会での行動人となる」ということが目指していることなのかもしれません。

新型コロナウイルスに対する世界的取り組みは、すべての国での行動にかかっています。今こそ、行動人である私たちが互いに手を取り、助けを必要とする人たちに迅速な支援を提供するときですと前会長マローニー氏は訴えています。

最後にもう一つお願いがあります。

オリンピックは延期となりましたが、日本のロータリー100周年記念の年にはわかりありません。記念バッジはすでに販売され、記念切手の販売が9月18日に予定されています。祝賀会開催は疑問ですが、共に祝いましょう。宜しく御協力ください。

今年度は、新しいプログラムとしてR L Iを地区で行うべく準備を進め、2月23日、24日の二日間ディスカッションリーダーの養成研修会を行っています。現在の状況下では研修会の開催はできませんが、しっかりと準備を進めてまいりたいと思いますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

こんな時でも、今年一年、会員各位コミュニケーションをとって、新しいものを求めて、変化を重ねてられまして、素晴らしい成果を上げられますよう御祈念申し上げます。

【講話】 柴田 博美 ガバナー補佐 報告

皆さん今日は、私は大腸検査をしておりますが、P C R検査をしておりませんので、マスクをしてしゃべらせて頂きます。先ほど会長幹事を交えましてガバナーと良い雰囲気の中でもめることもなく暴力も出ず非常に良い中で行われて良かったなと思っております。

多少先ほどガバナーが喋られた内容と重複していることがありますけれども、懇談会においては4つの四本をお話しされました。最初は定款細則についてこの時期ですから定款を上手に利用した行動、行事を行って頂きたい。二番目は会員増強です、若い人と女性を入会させていただきたい。三番目に寄付のお願いです。四番目のお願いはR Iとの構築をお願いしていただきたい。様々な意見等をだしていただきたい。

池田 誠 会長 報告

改めましてこんにちは、例会が始まる前にガバナーとガバナー補佐と話をさせていただき、米山奨学生の話もさせていただき、当クラブは二年連続で奨学生をお世話させていただいている。

あと、定款と細則の件で話をさせていただきました。三年に一度の規定審議会で定款細則の方を昨年大きく変更等々をさせていただきました。



閉会宣言

加藤 武志 SAA



点 鐘

池田 誠 会長

次回プログラム予定

令和2年9月1日(火) 「会員卓話」 (十勝ロータリー奨学会委員会)